

当院の「専門分野のナースの会」の活動報告と今後の展望

○太田純代・石井美紀子・梅崎淳子

はじめに

平成10年度に調査した職務満足度調査では、卒後10～15年目の看護師が最も低い値であり、中堅看護師への動機付けや教育的サポートの必要性が明らかになった。そこで、教育委員会ではキャリア開発ラダーとの整合性を図りながら、中間看護師のキャリアアップのための教育プログラムの一環として「専門分野のナースの会」（以下「ナースの会」と略す）を立ち上げた。平成14年度は、12の専門分野26名で活動を開始し、平成19年度には認定看護師が7名となり20の専門分野64名の活動を行うに至った。今までの活動を振り返り今後の展望を整理したので報告する。

I. 「専門分野のナースの会」の目標

1. 看護部教育委員会として各専門分野のナースが院内で活動出来るような環境を整える。
2. 各専門分野のナース間の連携を強化し、お互い協力して活動を支援しあう。
3. 各専門分野の知識を活用して、院内のナースのスキルアップに貢献する。

II. 「専門分野のナースの会」の領域と資格取得者数の推移

表1参照

III. 「専門分野のナースの会」の活動報告

【平成14年度】

「ナースの会」を運営するにあたり、まず専門分野の領域と資格取得者数を把握するためのアンケート調査を行なった。「ナースの会」への参加は自由とし、メンバーによる自主的な会の設立を目指し、年間目標を立案して活動し始めた。しかし、所属部署の看護業務と専門分野の活動を両立する中で、時間的な問題や業務量の増加が生じ、メンバーの負担になっていた。また、自主的な会の運営になっていなかったため、一部のメンバーはやらされ意識が強く活動目的を見出すことが困難な状況であった。

【平成15年度】

「ナースの会」の自主的な運営を促すために、卒後教育プロジェクトの中に位置付け、院内の卒後教育計画に「ナースの会」の活動をリンクさせた。また、教育委員長が「ナースの会」に年度初め・中間・年度末の3回参加し、活動目的や組織の中での活動についての説明を行なった。これらのことより、各専門分野の活動が意味づけられ、自主的な運営の助けになった。さらに、「ナースの会」のアピール強化年として、各専門分野の資格取得の過程や育成機関、活動内容等を明記したファイル（タイトル：専門分野のナースの活動）を各部署に設置し、スタッフに興味を持ってもらうことが出来た。メンバーの負担を軽減するために各専門分野のリーダーが参加して、メンバーに伝達し情報共有することで負担は軽減した。

【平成16年度】

卒後教育プロジェクト・教育委員会と連携し院内での専門的な勉強会などで講師として活動を行う分野も出てきた。また院内留学とタイアップし、各専門分野の後輩育成に貢献していくようになった。急性期病院の救急看護の質の向上のため、集中ケア認定看護師・救急救命士による挿管シミュレーションを11月より月1回各部署で実施した。このように異なる分野のコラボレーションと組織横断的な活動が始まった。この取り組みをまとめ、福岡赤十字看護研究会で報告した。会の開催を年5回とし、各専門分野で話し合う時間を確保するためにリーダーのみではなく全員参加の会とした。そのため、同じ病棟からの多数の出席が難しかった。

【平成17年度】

「ナースの会」の活動の重要性が看護職員の中で高まり、看護管理者やスタッフからの協力が得られやすくなり、会の時間を確保でき、有効な話し合いが出来るようになった。活動内容に関しては、特定の専門分野に勉強会や院内留学の依頼が集中した。計画が滞っている分野は

あせりもあったが会のメンバーとして部署での「ナースの会」の活動のPRを行う役割があることを認識し合った。挿管シミュレーションの取り組みについては、日本赤十字看護学会で発表した。

【平成18年度】

診療報酬改定により認定看護師の活動がより見直されてきた。看護部内に診療報酬対策プロジェクトを設置し、皮膚・排泄ケア認定看護師、糖尿病療養指導士による専門外来「フットケア外来」の立ち上げを支援した。フットケア外来の活動が部署を超えた活動となるため、看護管理者の協力を依頼し、9月からの運用を開始した。

認定看護師の研修生を受け入れることになり、当院スタッフだけでなく認定看護師研修生の実習指導に携わるようになった。認定看護師の活動は目に見えるため各メンバーの刺激になっていた。専門分野の話し合いの時間は確保出来たが、他の専門分野の話し合いの進行状況が把握しにくいとの意見があった。

【平成19年度】

各専門分野が年間計画を発表し合い、お互いの活動内容を共通理解した。その結果、他の専門分野の活動を自分たちの活動に反映できた。

今年度、新たに4名の認定看護師が誕生した。所属管理者との役割の確認や組織横断的な活動を支援するために、毎月認定看護師の会を開催し、その会に看護部長や看護副部長が参加した。

IV. 考察

「ナースの会」が設立してから6年が経過した。「ナースの会」への参加は自由意志であるが、年々メンバーが増加しており、活動内容も拡大してきた。その背景には、「専門分野のナースの活動」ファイルの作成や自部署での「ナースの会」

の活動PRなどが考えられる。今後さらに医療の動向や地域住民のニーズを把握した活動に発展させていくことが必要である。矢吹は、「専門分野のナースが他のスタッフの看護活動を支援することによって、複雑な問題を持つ患者の時期を逃さず、適切な看護介入が行われ問題解決が早い」¹⁾と述べている。「ナースの会」の活動は他の看護職のモデルとなり、当院の看護の質を高めることに貢献できている。さらに、特定分野の専門知識・技術を用いて水準の高い看護を効率的に提供することが病院の質にも繋がっていると考える。

V. 今後の展望

1. 医療の動向、地域住民のニーズを自ら収集し、新たな組織の構築や変革の促進者となっていくことが必要である。
2. 新たな取り組みを企画し、メンバー同士が協働して更なる会の運営が必要である。
3. 「ナースの会」が更に発展していくためには、キャリアアップを支援する組織風土や職場環境の整備が重要である。

おわりに

当院では、自らのキャリアアップのために資格を取る看護師が年々増加している。中堅看護師への教育プログラムの一環として設立した「ナースの会」の活動が影響していると考える。今後も、「ナースの会」の活動をアピールし、メンバー間で力を合わせて活動していきたい。

引用・参考文献

- 1) 矢吹道子：現場で役割を発揮する視点から 病院V. 1. 62 No. 5, 2003
- 2) 尾立和美：専門分野でのキャリアアップを経験して 看護展望 V. 1. 28 No. 8, 2003

専門分野の領域と資格取得者数の推移 (表 1)

年度	領域数	資格取得者数 (認定)	専門分野の領域 (人数) 新取得の分野
H14	12 分野	26 名 (2名)	WOC 看護認定看護師 (1) 重症集中ケア認定看護師 (1) 救急救命士 (3) 排泄ケア専門員 (1) 呼吸療法認定士 (2) ケアマネージャー (3) 日本糖尿病療養指導士 (3) 地域糖尿病療養指導士 (3) リエゾン (3) CAPD (1) マタニティビクスインストラクター (2) 思春期相談員 (3)
H15	13 分野	36 名 (2名)	WOC 看護認定看護師 (1) 重症集中ケア認定看護師 (1) 救急救命士 (3) 排泄ケア専門員 (1) 呼吸療法認定士 (2) ケアマネージャー (6) 日本糖尿病療養指導士 (4) 地域糖尿病療養指導士 (6) リエゾン (3) CAPD (1) マタニティビクスインストラクター (2) 思春期相談員 (5) <u>消化器内視鏡技師 (1)</u>
H16	14 分野	38 名 (2名)	WOC 看護認定看護師 (1) 重症集中ケア認定看護師 (1) 救急救命士 (3) 排泄ケア専門員 (1) 呼吸療法認定士 (2) ケアマネージャー (7) 日本糖尿病療養指導士 (2) 地域糖尿病療養指導士 (6) リエゾン (3) マタニティビクスインストラクター (3) 思春期保健相談員 (5) 消化器内視鏡技師 (2) <u>日本透析療法指導看護師 (1) 透析技術認定士 (1)</u>
H17	15 分野	50 名 (3名)	WOC 看護認定看護師 (1) 重症集中ケア認定看護師 (1) 救急救命士 (3) 排泄ケア専門員 (1) 呼吸療法認定士 (3) ケアマネージャー (7) 日本糖尿病療養指導士 (3) 地域糖尿病療養指導士 (7) リエゾン (3) マタニティビクスインストラクター (1) 思春期保健相談員 (4) 消化器内視鏡技師 (2) 日本透析療法指導看護師 (1) <u>感染管理認定看護師 (1) ACLS (12)</u>
H18	17 分野	58 名 (3名)	WOC 看護認定看護師 (1) 重症集中ケア認定看護師 (1) 救急救命士 (2) 排泄ケア専門員 (1) 呼吸療法認定士 (4) ケアマネージャー (10) 日本糖尿病療養指導士 (3) 地域糖尿病療養指導士 (5) リエゾン (2) マタニティビクスインストラクター (2) 思春期保健相談員 (5) 消化器内視鏡技師 (1) 日本透析療法指導看護師 (2) 透析技術認定士 (2) 感染管理認定看護師 (1) ACLS (12) <u>国際救援 (4)</u>
H19	20 分野	64 名 (7名)	皮膚・排泄ケア看護認定看護師 (WOC より名称変更) (1) 重症集中ケア認定看護師 (1) 救急救命士 (2) 排泄ケア専門員 (1) 呼吸療法認定士 (2) ケアマネージャー (7) 日本糖尿病療養指導士 (2) 地域糖尿病療養指導士 (8) リエゾン (1) マタニティビクスインストラクター (2) 思春期保健相談員 (5) 消化器内視鏡技師 (4) 日本透析療法指導看護師 (1) 透析技術認定士 (2) 感染管理認定看護師 (2) ACLS (17) 国際救援 (3) <u>がん化学療法認定看護師 (1) 透析看護認定看護師 (1) 手術看護認定看護師 (1)</u>